

4K UHD XJive Player MMT 受信機能（オプション）

4K UHD XJive Player は、メディアトランスポート方式である MPEG-H MMT（MPEG Media Transport）を用いて配信される番組コンテンツを受信し、映像/音声をリアルタイムデコード・提示する機能を有しています。MMT を受信するには、**.mmt** という拡張子のファイルに以下の書式で受信設定を記述します。**.mmt** ファイルを作成後、XJive の UI からファイルを選択することで MMT 受信が始まります。

1.1. MMT 受信設定ファイル（.mmt）

.mmt ファイル書式

以下は基本的な .mmt ファイルのサンプルです。

例)

```
#NTP=ntp.nict.jp
#BUFFER_SIZE=50
51216 ff12::1 2001::1:1:0:1
```

mmt ファイルには以下の書式で MMT 受信設定を記述します。

```
DSTPORT DSTADDRESS SRCADDRESS
```

設定項目は以下の通りです。

設定項目	説明
DSTPORT	ストリームを受信するポート番号を指定します。
DSTADDRESS	受信するストリームのグループアドレスを指定します。
SRCADDRESS	ストリームを送信するサーバの送信元 IP アドレスを指定します。

また、先頭が # で始まる行は通常コメントになりますが、予約されたいくつかの特別なトークンが存在します。

.mmt に指定可能な特別なトークン

キーワード	説明
#NTP=	参照する NTP サーバを指定します。
#BUFFER_SIZE=	MMT が復調され、video パケット audio パケットになってからのパケットバッファサイズを指定します。指定したサイズをバッファリングした後に再生を開始します。範囲は 2-180 を目安に指定してください。単位はフレームです。